

2017年度町田市教育委員会

第1回定例会会議録

1、開催日	2017年4月14日	
2、開催場所	第三、第四、第五会議室	
3、出席委員	委員 長	佐藤 昇
	委員	八並 清子
	委員	森山 賢一
	委員	坂上 圭子
	教育長	坂本 修一
4、署名委員	委員長	
	委員	
5、出席事務局職員	学校教育部長	北澤 英明
	生涯学習部長	中村 哲也
	教育総務課長	市川 裕之
	教育総務課担当課長	高野 徹
	教育総務課担当課長 (学校運営支援担当)	小宮 寛幸
	施設課長	岸波 達也
	施設課学校用務担当課長	浅沼 猛夫
	施設担当課長	細川 智
	学務課長	峰岸 学
	学務課担当課長	中溝 智章
	保健給食課長	佐藤 浩子
	指導室長	金木 圭一
	(兼) 指導課長	
	指導課担当課長	野田 留美
	指導課統括指導主事	熊木 崇
	教育センター所長	勝又 一彦

教育センター担当課長	林 啓
教育センター統括指導主事	宇野 賢悟
生涯学習部次長	小口 充
(兼) 生涯学習総務課長	
生涯学習総務課担当課長	早出 満明
(兼) 総務係長	
生涯学習総務課担当課長	貴志 高陽
(兼) 文化財係長	
生涯学習センター長	板橋 かおる
図書館長	近藤 裕一
図書館市民文学館担当課長	吉川 輝
(町田市民文学館長)	
図書館副館長	中嶋 真
図書館担当課長	江波戸 恵子
書記	小泉 宣弘
書記	谷山 里映
書記	田中 みゆき
速記士	帯刀 道代

(株式会社ゲンブリッジオフィス)

6、提出議案及び結果

議案第1号 町田市教育委員会いじめ問題対策委員会委員の委嘱について

原案可決

議案第2号 町田市立学校学校支援地域理事の任命の臨時専決処理に関し承認を求めるところについて

承認

議案第3号 町田市子ども読書活動推進計画推進会議委員の委嘱等及び解任の臨時専決処理に関し承認を求めるところについて

承認

7、傍聴者数 2名

8、議事の概要

午前 10 時 00 分開会

○委員長 ただいまから町田市教育委員会第 1 回定例会を開会いたします。

本日の署名委員は森山委員です。

以下、日程に従って進めてまいります。

日程第 1、月間活動報告に入ります。

前回の教育委員会定例会以降の活動につきまして、教育長から報告をお願いいたします。

○教育長 それでは、前回の教育委員会定例会以降の主に教育委員会にかかわる活動につきまして、今日は 1 点報告させていただきます。

3 月 22 日でございますが、第 8 回中学生東京駅伝大会におきまして、参加 50 チーム中、男女総合成績で第 2 位、準優勝というすばらしい成績をおさめました「チーム町田」の選手たちの努力をたたえるために、解団式というものを開催いたしました。

この解団式で披露された選手たちの感想の中で、練習を始めた最初のころは、自分が通う中学校の代表という意識しかなくて、なかなか他校の選手となじめなかったが、その後、練習を重ねるうちに、単に各校の代表ではなくて、「チーム町田」の一員だという自覚が芽生え、本番には、この仲間には必ずたすきをつないでいくんだというような気持ち、あるいは仲間とのきずなができたというようなものがございまして、このような生徒たちの思いが、今大会の結果につながったものと大変感動いたしました。昨年 12 月の結団式に初めて会った子どもたちが一回りも二回りも大きくなったように感じました。これも長い期間ご指導いただいた監督、コーチを初め、各中学校の関係する先生方のおかげでございます。改めて感謝を申し上げたいと思います。

また、これと関連して、4 月 4 日に、新年度のスタートに当たりまして、全校の校長先生にお集まりいただき、また各教育委員の皆様をはじめ、市長にも出席いただきまして、臨時校長連絡会を開催いたしました。

その席上で、石阪市長が冒頭の挨拶の中で、この中学生東京駅伝大会を例に挙げられまして、選手たちと同様に、校長先生方もそれぞれの学校経営だけではなく、「チーム町田」ということを意識して、町田市の子どものために、同じ方向にベクトルを合わせることの大切さというようなことを説いておられました。石阪市長も解団式に出席しておられましたので、同じ思いを持たれたのかなというような思いもいたしました。教育委員会事務局も、校長先生方とともに同じ方向にベクトルを合わせまして、町田市の教育の充実を

図ってまいりたいと考えております。

その他の主な活動は、お配りしております資料のとおりでございます。

私からの報告は以上でございます。

○委員長 事務局から何かございましたらお願いいたします。

○学校教育部長 私から、2017年度第1回町田市議会定例会3月議会において、文教社会常任委員会が3月16日に開催されましたので、学校教育部所管分についてご報告いたします。

学校教育部では、2017年度の当初予算と継続審査になっている請願についてご審議いただき、行政報告を1件行いました。

初めに、当初予算でございますが、7名の委員から質疑がございました。内容としては、消耗品や備品購入費などの小学校の再配当予算の内容を確認するもの、就学援助費に係る入学準備金の前倒し支給について、また小学校通学路への防犯カメラ整備に係る維持経費について、小学校給食のメニューの工夫や中学校給食の喫食率、ICTを活用した教育活動についてなどございました。

本件につきましては、賛成多数で可決すべきものとされております。

次に、いじめ事件に対して真摯に取り組むことを求める請願は、12月議会からの引き継ぎの審議で、この間の経過報告を行い、再度継続審査となりました。

次に、町田市立町田第一中学校改築工事基本設計について行政報告を行い、委員からは、工事期間中の校庭の利用や運動会の開催場所、代替運動場への移動手段などについての質問がございました。

報告は以上となります。

○生涯学習部長 私からは、3月16日に開催されました文教社会常任委員会の生涯学習部所管分の審議についてご報告いたします。

生涯学習部の案件は、第7号議案、2017年度一般会計当初予算の1件でございます。

いただきました主な質疑でございますが、町田市5カ年計画17-21で掲げている生涯学習施設のあり方の見直しに関する質疑が多く、見直しの対象施設は何か、あり方検討の進め方についてなどの質疑をいただきました。

このほか図書購入費について、また堺図書館の改修工事期間中の対応、さがまちコンソーシアムの今後の進め方など、合わせて6人の委員から質疑がございました。

常任委員会においては、学校教育部と同様に、賛成多数で可決されました。

報告は以上でございます。

○委員長 ただいまの教育長及び両部長からの報告につきまして、質問などありましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

それでは次に、各委員から報告をお願いいたします。

○八並委員 私からは3点お話しさせていただきたいと思います。

1つは、4月4日に行われました臨時校長連絡会についてです。先ほど坂本教育長からお話がありましたように、教育委員も年に2回、校長先生方の前でご挨拶申し上げる貴重な機会をいただいております。その1つが4月に行われます臨時校長連絡会です。

今回私は4月1日に行われました鶴川第二中学校、鶴川第二小学校の合同合唱演奏会の事例を取り上げて、毎年、全国大会を目指して活動している2校のこの取組が、市内各校によい影響を与え、それぞれの学校の合唱のレベルも年々レベルアップしていると感じられていること、先日行われました卒業式や入学式でのそれぞれの学校での歌声は大変すばらしく、毎回感動していること、そしてこうした各校の取組が市内全体に広がっているなど、先ほど教育長からも市長からも、「チーム町田」としての取組というお話がございましたが、そのように町田市全体として、「チーム町田」として、子どもたちの教育に取り組んでいただいている、そのすばらしさについて改めて感謝申し上げます。また、子どもたちの安全を確保すること、命の大切さ、生きていくことの希望を、子どもたちに強く強く伝えていただくようお願いをいたしました。

また、4月11日には、平成29年度教育施策連絡協議会が行われまして、東京都教育委員会の中井教育長からは、教育施策大綱、優先的に取り組むべき重要事項、主要政策について説明がありました。

ここで東京都の教育施策大綱をご紹介しますと、東京の将来像と目指すべき子どもたちの姿として、誰もが自ら望む教育を受けられ、可能性を伸ばせる社会の実現、グローバル化の進展の中でたくましく生き抜く人間、共生社会の中で多様性を尊重し積極的に社会的役割を果たす自立した人間、ということの3点が挙げられております。

行政説明の後は2つの基調講演が行われました。1つは、千葉大学、天笠茂先生による次期学習指導要領の改訂について、もう1つは、上智大学、吉田研作先生による今後の英語教育、国際理解教育についてでございます。

最後に、東京都の事業説明として、東京グローバルゲートウェイの説明が行われました。非常に興味深い事業だと私も思いましたが、このような事業を町田市の学校もどのような

形で取り入れることができるかを、それぞれの学校でいろいろ工夫されるのではないかと
思われます。

また、4月12日には、学校支援ボランティアコーディネーターの説明会に行きまいり
ました。今年度も、新規に登録されました10名を含め、小学校65名、中学校26名の計91名
の学校支援ボランティアコーディネーターの方が登録されました。2008年に学校支援実行
委員会が設立され、2011年に学校支援センター事業が始まり、今年で7年目を迎えます。
ボランティアコーディネーターの皆さんには、学校と地域を結ぶ重要な役割を担っていた
だいております。

学校支援センターの有賀統括コーディネーターからは、地域の学びを一貫して伝えるこ
と、地域と子どもたちをつなぐこと、そして子どもたちに地域住民としての意識をもたせ
るというボランティアコーディネーターの役割と重要性について話されました。今年度か
らは各校に地域担当教員が配置されることや、小学校のうち10校では、「まちとも」との連
携が行われるというような説明もございました。また、シルバー人材センターの活用、福
祉体験、選挙の出前授業、3R推進、ごみと環境の出前授業、3Rかるたなどの紹介が行
われました。

学校支援センターの取組は、学校と地域とを結びつける大変よい仕組みだと思ってお
ります。ボランティアコーディネーターの役割は年々多様化しており、ますます重要な立場
となってきております。ボランティアコーディネーターに大きなご負担をおかけせずに、
ご活躍していただけるよう、教育委員会としてもしっかりと支えてまいりたいと思いま
した。

私からは以上です。

○森山委員 それでは、私のほうから、主な活動状況についてご報告をさせていただきます。

今回の報告の期間はちょうど年度の終わりから年度初めの時期でしたので、私も多くの
行事に参加をさせていただきました。その中でもご報告をさせていただきたいのが、3月
17日に行われました町田第一中学校の卒業式、3月23日の南大谷小学校の卒業式でござ
います。また、入学式につきましては、4月6日、町田第六小学校、4月7日、金井中学校
の入学式にお伺いいたしましたので、あわせて報告をさせていただきます。

まず卒業式に関しましては、中学校は義務教育9年間の修了ということで、非常に重要
な節目だと私は考えております。それに加えて、やはり町田市の学校を去っていくという

大きな意味合いもあります。町田第一中学校の卒業式は、そのことを踏まえた非常に素晴らしいものでありまして、感動いたしました。

町田第六小学校の入学式に関しましても、式の中では、2年生が1年生を出迎えるということで、1年間たつと、あれだけの成長があるのだなということを比較できるというか、こんなにも大きな差を感じるというか、1年間の学校教育は素晴らしいんだということを、式を通して実感いたしました。そういう意味では、今年入学した1年生も、また来年度、2年生を迎えるに当たって、きっとこれだけの成長があるのだなということを、1年生を一生懸命出迎えていた2年生の姿から考えさせられました。

入学式・卒業式でお伺いした4校全ての学校でしっかりと指導が行き届いておりまして、私語1つなく、しっかりと式に参加をしているというか、自分たちの式であるという意識を非常に強く感じることができました。この児童生徒のしっかりとした態度は、やはり日ごろのご指導が行き届いていることによるものだろうと実感した次第です。

今回参加させていただいた卒業式、入学式というのは、学校行事の中でもとりわけ重要な儀式的行事だと思いますが、このように各学校においては、しっかりとした行事がとり行われているということをご報告させていただきたいと思います。

2点目ですが、4月4日の臨時校長連絡会に出席をさせていただきました。先ほど教育長からもお話がございましたが、私のほうからは、ここで校長先生方に2つの観点のお話をさせていただきました。

1つは、学校管理職に期待される基本的姿勢は使命感と責任感という意味で、学校ビジョンの構築に向けて、学校教育目標の実現、それから中長期的、または年度をふまえた視点から様々な事項をしっかりと明確にさせていただきたいということです。

2つ目は、人材育成ということで、今日ご出席の方々もご承知のとおり、それぞれの学校に新規の採用者の方が、多い学校は6、7名いらっしゃったと思いますが、非常に多いですね。それぞれの学校で、ぜひ人材育成をしていただきたい。教育活動を通して、自らと教職員の能力を向上させて、人としての成長を促進させる役割を担っていただきたい。新年度は、新任者が多いと、何かといろいろ大変なところもあろうかと思いますが、ぜひ各学校でもご指導いただきたいという人材づくりについてお話しさせていただきました。

私からの報告は以上でございます。

○坂上委員 私からは2点ほど報告させていただきます。

まず1点目は、3月に市内小学校、中学校の卒業式、4月も同様に入学式に出席してま

いりました。どの卒業式も入学式も大変すばらしく、とても感動的な式でしたが、中でも印象に残ったのは、町田第三中学校の卒業式でした。今回の卒業生は、風間校長先生が町田第三中学校に着任したときに入学してきた生徒たちで、当時の入学式の生徒たちの様子は、とても褒められるような態度ではなかったそうです。しかしながら、この3年間で、風間校長先生のご尽力により、学校内の先生方の連携を強め、保護者を初め地域の皆様にご協力をいただき、今回のすばらしい卒業式を行えるまでに成長したそうです。当時の大変だった様子をいろいろお聞きしましたが、そんなことがあったなんて、まるで信じられないくらい、本当にすばらしい卒業生たちでした。

3年間で振り返りながら、壇上で風間校長先生が、こみ上げてくる涙を押さえ、式辞を読み上げている姿に、卒業生たちも一緒になって涙を流していたこの光景に、思わずこちらまで涙が出てしまったほど、本当に終始感動的な卒業式でした。あの生徒たちが流した涙に、この町田第三中学校で過ごした3年間の全てが詰まっていたのではないかと思います。この卒業式、そしてここで過ごした仲間との時間は、子どもたちにとって決して忘れることのない一生の思い出になったことだと思います。このような心からの感動をこれからもたくさん経験し、人の気持ちのわかる人に成長して行ってほしいと、私も卒業生たちにエールを送らせていただきました。

2点目は、4月4日、新規採用教員辞令交付式に出席いたしました。新規に採用された先生方は、今年度、全部で89人でした。まだどことなく学生の雰囲気が残る本当に若い先生方でしたが、この先生方がこれから町田市内の小・中学校で、子どもたちと一緒に学校生活を送っていくのかと思うと、新たな生活のスタートにこちらも身が引き締まる思いでした。

1人1人、名前と配属される学校と抱負を発表しましたが、みんな夢と希望にあふれ、これが現実になったら本当にすばらしい、少しでも現実になるように、今日のこの日に発表したことは、何年たっても忘れずにいてほしいと思いました。これからいろいろな壁にぶつかり、失敗や挫折することも出てくるかと思いますが、若さと、何事にも折れない気持ちで、そして町田の子どもたちのために精いっぱい頑張ってもらいたいと思いました。

新年度に当たり、子どもたちも先生方も皆新しいスタートを切りました。町田の子どもたちが、そして先生方も、学校に行くのが楽しい、学校でみんなに会うのがうれしいと思えるような実のある学校生活を送れるように、私も教育委員としてできる限りのお手伝いをしていきたいと心新たに思った次第です。

私からの報告は以上です。

○委員長 私からは、皆さん報告されていますが、4月4日の臨時校長連絡会において、挨拶の中で校長先生方に私から送ったメッセージの内容ですが、これまで取り組んできた学力向上、体力向上を初め、これからはICT教育の推進、英語教育等、新しい教育課題がいろいろと押し寄せてきて、それらへの対応をしっかりとやっていかなければならないということを押さえた上で、教育はそれだけではないだろう、最も大事なものは、子ども1人1人の人格の完成を目指して教育活動が行われることであり、またあらゆる教育課題に対応できるだけの能力のある子どもばかりではないということも忘れないようにして、学校でご指導していただきたいということをお話をさせていただきました。

それでは、各委員からの報告につきまして、何かご質問などありましたらお願いします。

私からですけど、先ほど森山委員からもありましたが、小学校の入学式で、2年生が1年生を迎えるいろいろなことをやられている姿は、私も毎年見させてもらっています。また、先ほど坂上委員からも、町田第三中学校で子どもたちが入学式から3年の間に変わっていったというお話がありました。

またこの後、5月、6月に入りますと、小学校のほうで運動会などが行われます。入学したばかりの1年生が、上級生と一緒にあって、同じような集団での行動がちゃんとできるようになるという姿をいつも見せられているわけですが、どちらかというところ、学校教育については、課題なり問題なりに注目されて、いろいろとお話を聞かなければならないことが多々ありますが、よくよく考えてみますと、学校教育の力といいますか、そういうものを私たち自身ももっと高く評価して、町田市民の保護者の方々にも学校教育のすばらしさというものをもっと認識してもらおうような方向になればいいなど、各委員の報告をお聞きしながら感じたところがございます。

何か質問などありますでしょうか。――よろしいでしょうか。

それでは、月間活動報告を終了いたします。

日程第2、議案審議事項に入ります。

教育長、お願いいたします。

○教育長 本日の議案第1号及び第2号につきましては学校教育部長から、また議案第3号につきましては生涯学習部長からご説明を申し上げたいと思います。

○委員長 それでは、議案第1号を審議いたします。学校教育部長から説明をお願いいたします。

○**学校教育部長** 議案第1号「町田市教育委員会いじめ問題対策委員会委員の委嘱について」、ご説明申し上げます。

本件は、町田市教育委員会いじめ問題対策委員会及び町田市いじめ問題調査委員会条例第4条第1項に基づき、町田市教育委員会いじめ問題対策委員会委員として4名を委嘱するものでございます。

委嘱は2017年5月1日付で行い、任期は2019年4月30日まででございます。

1枚おめくりいただきますと、今回委嘱いたします委員の名簿となっております。新任の方が2名、再任が2名となります。

説明は以上でございます。

○**委員長** 以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関しまして、何か質問はございますか。

私からですけど、この対策委員会で協議される事案というのは、大きなものだろうと思います。これまで2年間で、この対策委員会で審議された事案は何件ぐらいあるのでしょうか。件数を教えてください。

○**指導課統括指導主事** 大きな報告書をまとめた事案については、1件でございます。

○**委員長** ほかにございますか。

それではお諮りいたします。議案第1号は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○**委員長** 異議なしと認め、原案のとおり決することといたします。

次に、議案第2号を審議いたします。

○**学校教育部長** 議案第2号「町田市立学校学校支援地域理事の任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて」、ご説明申し上げます。

本件は、町田市立学校の管理運営に関する規則第13条の4の規定に基づく学校支援地域理事について、別紙のとおり学校長から推薦があり、2017年4月1日付で任命するため、3月31日付で臨時専決処理をいたしましたので、教育委員会において承認を求めるものでございます。

任期は、2018年3月31日まででございます。

1枚おめくりいただきますと、4月1日付で任命いたします、小学校1名、中学校1名の方のお名前が載っております。

説明は以上でございます。

○委員長 以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関しまして、質問はございますか。

私からですけど、4月1日付で任命された学校支援地域理事は全部で何名ほどになるのでしょうか。

○学校教育部長 3月31日の臨時教育委員会で既に371名の方を任命しておりますので、今回2名追加ということで、合わせて373名ということでございます。

○委員長 ほかにございますか。

それではお諮りいたします。議案第2号は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしと認め、原案のとおり承認することといたします。

次に、議案第3号を審議いたします。

○生涯学習部長 それでは、議案第3号「町田市子ども読書活動推進計画推進会議委員の委嘱等及び解任の臨時専決処理に関し承認を求めることについて」、ご説明いたします。

本件につきましては、町田市子ども読書活動推進計画推進会議設置要綱第3の規定に基づき、別紙のとおり、委員の委嘱等及び解任を行うため、3月31日に臨時専決処理をいたしましたので、教育委員会において承認を求めるものでございます。

なお、任期は2017年7月31日までです。

1枚おめくりください。今回は4月1日付の人事異動がありましたので、3月31日付の解任と4月1日付の委嘱及び指名となっています。

なお、選出区分の「図書館又は学校図書館に係わるボランティア」については、本人から退職の申し出があったものでございます。後任については調整中でございます。

説明は以上です。

○委員長 以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関しまして、何か質問などありましたら、お願いいたします。

○森山委員 1点お伺いいたしたいと思います。

子ども読書活動推進計画推進会議は年間にどのぐらいの頻度で開かれるのでしょうか。教えていただければありがたいと思います。

○図書館長 この会議は年間2回開催しております。

○委員長 ほかにございますか。

それではお諮りいたします。議案第3号は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしと認め、原案のとおり承認することといたします。

それでは、日程第3、報告事項に入ります。

教育長から報告をお願いいたします。

○教育長 本日は全部で10件の報告事項がございます。この詳細につきましては、それぞれの担当者からご説明を申し上げます。

○委員長 それでは、報告事項(1)についてお願いいたします。

○学務課長 報告事項(1)「2017年度町田市立小・中学校の学級編制について」、ご報告いたします。

2017年4月7日現在の児童・生徒数及び学級数が確定いたしましたので、報告するものでございます。

小学校の通常の学級につきましては、児童数2万2,297人となっております。前年度と比べまして136人の減少でございます。学級数につきましては708学級で、前年度と比べまして6学級減少しております。なお、小学校1年生、2年生は35人学級、3年生以上は40人学級で編制しております。

次に、中学校の通常の学級につきましては、生徒数1万362人となっております。前年度と比べまして300人減少しております。学級数につきましては293学級で、前年度と比べまして8学級減少しております。中学校1年生につきましては、2013年度から東京都が独自に35人学級を実施しており、それに沿って学級編制をしております。

続きまして、特別支援学級ですが、小学校につきましては児童数434人で、前年度と比べまして33人増加しております。学級数につきましては67学級で、前年度と比べまして2学級増加しております。中学校につきましては生徒数212人で、前年度と比べまして11人増加しております。学級数につきましては32学級で、3学級増加しております。

通常の学級及び特別支援学級の学校ごとの詳細については、次ページ以降に記載しております。

報告は以上でございます。

○委員長 ただいまの報告につきまして、質問などありましたらお願いいたします。

私からですけど、小学校で言えば、1、2年生が35人学級、中学校で言えば1年生が35人学級ですが、小学校の3年生以降、中学校の2年生以降についても、今後何か動きがあるのでしたら、情報を提供していただきたいのですが、いかがでしょうか。

○指導室長（兼）指導課長 現在のところ、小学校3年生以上、また中学校2年生以上のところにつきましては、情報等はまだ入っておりません。またつかみ次第、ご報告させていただきます。

○委員長 ほかにございますか。

それでは、報告事項（2）に移ります。よろしく申し上げます。

○学務課長 報告事項（2）「町田市就学援助費支給要綱の一部改正について」と報告事項（3）「町田市就学奨励費支給要綱の一部改正について」、まとめてご説明をいたします。

就学援助費支給要綱及び就学奨励費支給要綱とは、経済的にお困りで、お子さんを小・中学校に就学させることが困難な家庭の保護者に対して、学用品通学用品費、入学準備金、給食費、修学旅行費などの学校でかかる費用の一部を援助する制度でございます。就学援助費は通常の学級の児童・生徒が対象でございます。就学奨励費は特別支援学級や通級指導学級の児童・生徒が対象でございます。

今回の改正の理由としましては、従来、入学準備金の支給につきまして、小学校、中学校へ入学した後の7月に支給をしておりましたが、中学校1年生に支給する入学準備金を中学校に入学する前、小学校6年生の時点で支給することにより、制服代など、中学入学にかかる保護者の経済的な負担の軽減を図るため、改正するものでございます。

なお、今回の改正により、2017年4月に中学校に入学する方へは、従来どおり入学後の7月に支給となりますが、2018年4月に中学校に入学する方から、小学校6年生時点での支給に変更となります。

改正内容につきましては、資料の（1）から（4）に記載のとおりでございます。

施行期日は2017年4月1日でございます。

説明は以上でございます。

○委員長 何か質問がありましたらお願いいたします。

私からですけど、小学校6学年の時点で支給する方式に改めたことにより、新しい課題などは何か発生しているのでしょうか。

○学務課長 小学校6年生のときに支給をする条件としまして、中学校に上がっても町田

市に在住することを原則として支給をしますので、その確認をきちんとしなくてはならないということが1つ課題になります。

○委員長 ほかに質問などございますか。

それでは、報告事項（2）と報告事項（3）は終了いたします。

続いて、報告事項（4）、お願いいたします。

○教育センター所長 それでは、報告事項（4）「特別支援学級の新設について」、報告いたします。

町田市におきましては、現在、小学校の自閉症・情緒障がい学級を、町田第一小学校、南第四小学校と、昨年度からの忠生小学校、合計3校に設置しております。

これにつきましては、保護者等から、自閉症・情緒障がい学級の増設のニーズがなおございますので、町田市特別支援教育推進計画推進協議会におきまして、その対応策について引き続き検討を進めております。

そして、この協議会での意見も踏まえまして、既存の自閉症・情緒障がい学級との位置関係、それから対応可能な教室の条件等を鑑みまして、2018年4月から自閉症・情緒障がい学級を本町田小学校に新設することといたします。これによりまして、指導対象となります児童の今後にわたる教育環境の充実及び教育的効果の向上を図ってまいりたいと考えております。

報告は以上となります。

○委員長 何か質問がありましたら、お願いいたします。

○森山委員 1点だけ伺いたしたいと思います。新設の本町田小学校の特別支援学級は、大体どのくらいの人数を予定しておられるのでしょうか。

○教育センター所長 現在想定している人数は、変動は多少あるかと思いますが、今のところ7名ほどを想定してございます。

○八並委員 各校の校長先生方とお話をいたしますと、特別支援学級へ通われるようなお子さんが増えてきているという実情があるようであります。今後ともその時その時の状況に鑑みて、うまく対応していただけるようお願いいたします。

○委員長 私から。この本町田小学校の固定学級に関して、教員の体制はどのようになっているのでしょうか。

○教育センター所長 教員につきましては、7名のお子さんを想定しておりますので、これに対する教員数は、現在のところ2名を想定しております。

○委員長 ほかにございますか。

それでは次に、報告事項（５）について、お願いいたします。

○生涯学習部次長（兼）生涯学習総務課長 報告事項（５）「町田市文化財保護事業費補助金交付要綱の一部改正について」、報告させていただきます。

町田市文化財保護事業費補助金交付要綱を一部改正いたしましたので、報告いたします。

改正理由でございますが、要綱の有効期限を延長するとともに、町田市補助金等の交付に関する要綱の制定に伴い、改正するものでございます。

2017年４月１日施行の町田市補助金等の交付に関する要綱の制定により、2017年度以降の補助金等の交付については、原則としてこの要綱の規定が適用されることとなります。交付手続等の共通する事項については、町田市補助金等の交付に関する要綱が規定し、文化財保護事業費補助金交付要綱のような個別の補助金交付要綱には、補助金等の目的、内容等の個別事項のみを規定する形となります。

改正内容でございますが、以上の趣旨を踏まえ、交付手続等に関する規定や様式を削る内容となっております。

有効期限は、2020年３月31日限りとしております。

施行期日は2017年４月１日としますが、有効期限に係る改正は３月31日からとしております。

１枚おめくりください。改正後の要綱でございます。

趣旨規定を加え、補助の目的、補助対象事業、概算払いについての規定のみとなっております。

最後のところで、有効期限は2020年３月31日限りというように改正しております。

２枚おめくりください。改正前の要綱でございます。第３の「補助金の交付申請」、第４の「補助金の交付決定」等々、手続等に関する内容及び様式を削ることになっております。ただし、様式は省略しております。

この一部改正による事業内容等についての変更はございません。

報告は以上です。

○委員長 何か質問はございますか。――よろしいでしょうか。

報告事項（６）に移ります。

○生涯学習部次長（兼）生涯学習総務課長 報告事項（６）「町田市文化財総合活用プランに基づく年度末事業評価について」、報告させていただきます。

2013年度に策定いたしました当プランの中に事業の評価について規定がされております。具体的にはプランに基づき事業を実施し、その取組結果を毎年度末に文化財保護審議会に報告し、事業評価を受けます。その評価をもとにして、必要に応じて計画の修正を行うと示してあります。

これに基づき、文化財保護審議会に、2016年度の事業の取組内容、結果を報告し、評価を受けましたので、報告させていただきます。

裏面の表をごらんください。取組事業は全部で16事業となっております。それぞれの事業内容について報告させていただき、それについてご承認をいただいております。

特に主な点についてここで説明させていただきます。

事業番号3「西谷戸横穴墓群復旧整備事業」ですが、整備工事が2016年11月に完了いたしました。全部で9基の横穴墓のうち4号と5号墓は、イベントなどのときに内部を公開する予定でしたが、整備検討委員会において、一時的に地衣類、藻類が大量に発生し、見学者によっては健康被害が生じる危険性が指摘されました。地衣類、藻類は、密閉することでいずれ死滅するため、経過観察を行い、安全が確認された後、内部を公開する予定でございます。

事業番号4「細野喜代四郎書斎再築事業」です。こちらの事業ですが、野津田公園にある村野常右衛門生家に隣接して細野家書斎を再築することで、野津田に自由民権運動に関する施設を集中し、相乗効果を図りたいと考えています。しかし、以前にも報告したとおり、村野邸がシロアリと腐食により傷んでいることがわかったため、まず村野邸の復旧整備を優先して行っている状況でございます。2016年度は村野邸の実施設計を行い、復旧整備工事に着手いたしました。また、細野家については、村野邸の復旧整備を優先するため、事業スケジュールを遅らせて取り組んでいく予定です。

続きまして、事業番号6「南多摩窯跡群整備事業」でございます。2015年度は調査をすることができませんでした。今年度は御殿山窯跡群37号窯、1979年に立正大学が調査している窯跡1基を改めて調査することができました。

続きまして、事業番号13「自由民権資料館講座事業」です。昨年度は自由民権資料館が30周年ということで、講座というわけではありませんが、自由民権資料館を離れ、生涯学習センターのホールでシンポジウムを2回行いました。

主な点の報告は以上となります。

○委員長 何か質問がありましたらお願いいたします。

○八並委員 このような町田市の文化財は一般市民にはなかなかなじみの薄いものも多くあると思っております。ぜひ市民の皆様幅広く認知していただけるように、ホームページや広報紙を含めた広報活動によりアピールしていただき、それぞれの事業のことを理解していただけるようになればと思います。

○委員長 ほかにございますか。――よろしいでしょうか。

それでは、報告事項（7）に移ります。

○生涯学習部次長（兼）生涯学習総務課長 報告事項（7）「町田市有形文化財指定記念 第1回特別展『村野常右衛門関係史料』（前期）の開催について」、報告させていただきます。

開催趣旨ですが、本年1月に村野常右衛門関係史料が町田市指定有形文化財に指定されたことを記念し、開催するものでございます。

前期、後期に分けてその資料群から紹介してまいります。まず前期では、常右衛門の民権家、政治家としての活動を中心に紹介をしていきます。

開催期間は4月29日から6月18日までとなっています。

また、関連事業といたしまして、講演会を2回、自由民権資料館閲覧室で行うことを予定しております。

報告は以上です。

○委員長 何か質問はありますか。――よろしいですか。

次に、報告事項（8）、お願いいたします。

○図書館長 それでは、報告事項（8）「第6回『まちだとしょかんまつり』の実施報告について」、ご報告いたします。

図書館・文学館では、子どもや保護者に楽しい場を提供し、図書館や本に親しみをもっていただき、また広くボランティアグループの活動を知っていただくために、「まちだとしょかんまつり」を開催いたしました。

6回目となる今回は、3月24日から3月29日までの5日間、中央図書館、地域図書館、文学館の全9館を会場とし、18団体が実行委員会を組織して運営を行いました。

また、今回から、名称を「まちだとしょかん子どもまつり」から、「まちだとしょかんまつり」に変更いたしました。

プログラムと参加者につきましては、次ページ以降の資料をごらんください。中学生、高校生、大学生に参加を呼びかけた結果、前回好評を得た桜美林大学落語研究部による落語に加え、市内近隣の大学、専門学校など3校の学生が、手づくり絵本や作品展示で参加

いたしました。

合計で62のプログラムを実施し、前年度よりも約490名多い2,203名の参加者がありました。

報告は以上でございます。

○委員長 何か質問がありましたら、お願いいたします。

私からですけど、名称を変更したことによる効果とございますか、どんなことが考えられますか。

○図書館長 名称を変更した理由は、「子ども」とつくると、どうしても参加できる方が子どもに限定されると思われがちということで外したわけです。実際の参加者について、中学生とか、高校生とかという形での確認はなかなかとれておりませんので、どのくらい増えたか、ここでははっきりお答えできないのですが、日曜日はちょっと天候が悪い中で心配だったんですが、参加者が490名増えたということで、一定の成果があったと考えております。

○八並委員 各大学の方も参加していただくなど、活動の輪が広がっているように感じております。また、会場が各図書館に広がっていて、中央図書館までお越しになれない方も、近隣の図書館などで参加することができて、大変よい取組になってきているのではないかと思います。今後もぜひ魅力ある取組の1つとして続けていっていただきたいと思います。

○委員長 ほかにございますか。

それでは、報告事項（9）、お願いいたします。

○図書館市民文学館担当課長（町田市民文学館長） 「今後10年の町田市民文学館のあり方について」、答申をいただきましたことについて、ご説明申し上げます。

市民文学館は2006年10月に開館いたしました。10年目を迎えるに当たり、これまで文学館が実施してきた事業を改めて検証し、今後の文学館のあり方、改善方法や新たな事業の提案などについてご意見をいただくために、2015年7月に、町田市民文学館運営協議会に対し、「今後10年の町田市民文学館のあり方について」を諮問し、2017年3月27日に答申をいただきました。

答申の構成、概要は資料にお示ししているとおりでございますが、文学館の魅力の伝え方や情報発信のあり方など、数多くのご意見やご提案をいただいたところでございます。

一例を申し上げますと、展示については、町田ゆかりの作家や学術的に価値の高い作家の展覧会に加えて、エンターテインメント的要素が高い、また見て楽しい展覧会の開催につ

いても言及がされました。

また、教育普及事業では、幅広い世代の方に参加していただくために、漫画や映画、音楽などの文学の周辺領域と言われる分野の多彩なイベントの事業展開を望まれました。

また、情報発信においても、マーケティングの重要性や、ターゲットに合わせた発信方法の確立など、またホームページですとかSNSに加えて、従来の紙媒体のよさを生かした、言ってみれば、アナログ的な手法による情報発信の可能性についてもご提案をいただいたところでは。

ただ、この諮問を行った後なんですが、文学館が2015年度に実施した市民参加型事業評価の対象になりまして、そこで文学館の役割や存在意義を整理・検証するなどの改善が必要であるとの評価を受けております。

また、本運営協議会の審議期間中でありましたが、2016年3月には町田市公共施設等総合管理計画が策定されるとともに、2017年2月に作成された町田市5カ年計画17-21の行政経営改革プランの取組では、文学館の存廃を今後検討していくこととなっております。

今回の答申につきましては、特に今後文学館が担うべき役割や機能を議論していく上で参考になるものと考えておりまして、全市的に行う公共施設再編の検討と合わせて、今後の文学館のあり方の検討に活用していく予定としております。

以上です。

○委員長 何か質問はございますか。

私からですけど、答申書の37ページに諮問文が載っておりますが、諮問理由の最後のほうに、「しかしながら、町田市民文学館の存在が広く浸透しているとは言いがたい状況にあります」とありまして、このようなことが諮問の大きな理由の1つではないかと思えます。私もまだこの答申書を細かく見ているわけではないのですけれども、広く浸透させていくための何かヒントのようなものがこの審議会から出ておりましたら、参考までに担当課長からご指摘いただければと思うのですが、いかがでしょうか。

○図書館市民文学館担当課長(町田市民文学館長) この審議をしていただいている中で、特筆する中では、例えばゲストキュレーターの採用です。今、展覧会等を開くに当たっては、文学館の職員が直接担当しているのですが、外部からそういった学芸員を招聘して企画等をしたらどうかというご提案を受ける中で、早速、実行したところ、文学館はやはり50代、60代の方がお見えいただくような傾向もあるのですが、そのゲストキュレーターをお招きした企画の中では、20代、30代の方がそれまでに比べて多くおいでいただいたとい

うような事例が1つございます。

今後、浸透させていくということについては、やはりこのように幅広い方に文学館の活動に対して関心をもっていただくことが一番の要点なのかなと思っております。

以上です。

○委員長 私ども教育委員の中でも、とてもすばらしい活動をしていることは高く評価してきたところであります。この諮問文にあるように、市民にもっと広く浸透していったら、また評価が変わっていくのではないかと思いますので、この審議会の答申を受けつつも、担当者のほうで、市民文学館の存在が広く浸透していくような取組もぜひ研究していただけるとありがたいなと思います。

ほかに何か質問などございますか。

○八並委員 私からもお願いしたいと思います。

今回、「まちびと」にも町田文学館の記事を出していただきました。こういった記事を目にすると、文学館に行ったことがない方でも、町田にはこんな作家がいて、こんなことをやっているんだなというような非常にいいPRになっていると思います。いろいろな形で魅力的な情報発信とPRをしていただいた上で、この文学館の事業を多くの方に広く評価していただけたらいいなと思いますので、ぜひ頑張ってくださいと思います。

○委員長 教育委員のほうからは、質問というよりは、期待を込めたエールを送らせていただきました。

それでは、報告事項（10）に入ります。

○図書館市民文学館担当課長（町田市民文学館長） 「開館10周年記念『野田宇太郎 散歩の愉しみー〈パンの会〉から文学散歩までー』展の実施報告について」、ご説明申し上げます。

昨年度は開館10周年記念と銘打ちまして、各企画展をしまいりました。「文学散歩」創始者で、晩年の10年間を町田市で過ごした野田宇太郎を取り上げた展覧会を49日間にわたり開催し、観覧者3,706人にお越しいただきました。

期間中に実施した主要なイベントで、4回の「文学散歩」はいずれも人気が高く、定員15名のところ、それぞれ定員を上回るような申し込みを受けた会が多くございました。

また本展では、野田宇太郎が初代会長を務めた町田ペンの会、現在の東京町田ペンクラブのご協力をいただいたほか、和光大学と連携して実施した「町田駅前文学散歩」などでは、若い学生さんの視点から町田の魅力を再発見するといったような機会をつくること

できました。

説明は以上になります。

○委員長 何か質問などありましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

それでは、報告事項は全て終了いたしました。

以上で町田市教育委員会第1回定例会を閉会いたします。

午前11時02分閉会